

press release

2008年6月25日

シニア犬がずっと元気に生活するために ペディグリー®に新ラインナップ「ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用」が登場

マース ジャパン リミテッド(本社:東京都目黒区、社長:デビッド・ティーズデイル)が展開する「人とワンちゃんとの豊かな生活を応援する」ドッグフードブランドの「ペディグリー®」では、新ラインナップ「ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用」の缶タイプとパウチタイプの2種類、6つの味を追加、8月26日(火)から全国で新発売いたします。シニアとなった愛犬と、愛犬家の皆様がずっと健やかに生活するために開発された商品です。

【ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用】



ペディグリーチャム 缶 400g

左から「ビーフ&せいの野菜・魚入り」/「チキン&せいの野菜・魚入り」/「ビーフ&チキン・緑黄色野菜、魚入り」



ペディグリーチャム デリカスタイル(パウチ) 150g

左から「あっさりビーフ&せいの野菜」/「あっさりビーフ&魚・せいの野菜」/「あっさりささみチキン&せいの野菜」

■「ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用」について

「ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用」は、獣医師やウォルサム研究所が開発に参加し、犬と食事の研究から誕生したウェットフードです。シニアになった愛犬と愛犬家の皆様がずっと健やかな生活を送るために、以下の4つの特徴があります。

1.必要な栄養とシニア犬が喜ぶおいしさを実現

新鮮な野菜をジューシーなスープタイプやなめらかなローフタイプのお肉でまとめました。総合栄養食ですので美味しく食べながらバランス良く栄養が摂取できます。

2.ライフステージにあったカロリー設定

愛犬には成長段階にあわせた“理想的なカロリー”が必要なため、7歳に比べて食欲が衰えがちな11歳からの愛犬にはエネルギーが必要です。11歳からの愛犬用は11歳頃からの愛犬の体に配慮したカロリー設定になっています。

3.シニア犬の食べやすさにも配慮

小さくて食べやすいお肉の大きさ。さらに歯の弱った老犬でも噛みやすいやわらかさです。

4.選べるバラエティ

豊富な味のバリエーション。愛犬の大好きなビーフやチキン、野菜、魚などをバランスよくとれる缶タイプとパウチタイプの2タイプずつ、計6種類の味覚が楽しめます。

■開発の背景

近年、飼育犬の高齢化が急激に進んでいます。それに伴い、愛犬家の間ではシニアフードの必要性や、家族の一員として愛犬への食の意識が高まっています。そうした時代背景を受け、市場におけるシニアフードのシェアは年々増加しており、当社が実施したアンケートにおいてもシニア犬を飼育しているドッグフードオーナーの9割以上が「愛犬がシニアになって食事に気をつけはじめた」と回答しています。当社では従来よりシニア用「ペディグリーチャム 7歳からの愛犬用」を販売していますが、そうした消費者からのニーズにより一層応えるために、11歳を超えるシニア用のドッグフードの開発に着手しました。従来の7歳からのシニア用ドッグフードと同様11歳からの愛犬にとって必要な栄養と食べやすさを追求し、またウォルサム研究所におけるシニア犬に関する長年の研究の知見が盛り込まれています。また、そうしたシニア犬用ドッグフードとしての健康機能を充たすのみならず、多様な素材とこだわりの味をラインナップとして開発しました。『ずっと生き生きとしたハッピーな生活を送るための、“ドッグフード”を超えた“おいしいごはん”』それが新しい「ペディグリーチャム 11歳からの愛犬用」です。

お問い合わせ:マース ジャパン リミテッド 広報部 小川 (電話 03-5434-3334)